東山の森だより

【第１２号】

発　行：なごや東山の
　　　　森づくりの会
発行者：滝　川　正　子
編　集：広　報　班
発行月：2009年12月
（年２回発行）

§§東部丘陵「緑の回廊づくり」の拠点として発信§§

なごや東山の森づくりの会 代表　　滝川　正子

今年の東山の森の紅葉は見事なものでした。また、森から街を遠望しながらの夕焼けも美しかったです。東山の森には夕焼けだけでなく日の出、月そして流星を観る名所があります。私たちは、いつしか夕焼けにも感動せず、雨に濡れた土の感触を忘れた人になってしまいました。人は、水と緑と土によって生かされております。

名古屋の緑被率（1990年29.8%, 2005年24.8%）減少し続けています。緑被率の下げ止まりについて、河村市長はマニフェストに「**緑の回廊、水の回廊、風の道の街づくりを目指す**」とあります。これは換言すれば自然を活用した街づくりであり、この地域の生物多様性の保全を目指すものです。また、私たちの公開質問の回答の中にも、その実現には、生物多様性を保全するための市民の行動も必要であり、学習センターとしての生物多様性センターについては、その機能を発揮できるよう既存の敷地や施設を活用する方法を含めて検討をしたい、とありました。さらに、回答の中に「主権者である市民が積極的に参加・協働している行政」においては、「安上がりの市民利用に陥らない仕組みづくりをおこないます。(略)公共サービスを担うことができる力強いサードセクター形成を支援し、公共サービスへの市民参加を促進していきます。サードセクター組織と行政との間で相互の自立性を尊重しつつ成果を生み出すためのサードセクター組織と行政との関係を形成するためのルールや基盤を整備していきます。

私たちは、なごや東山の森づくり基本構想づくりに関わり、そして、森づくり活動をしてきました。このサードセクター組織に相当するものと理解をしております。
そして、森づくり「**緑の回廊づくり」は市民・行政の協働**であたるもので、協働とは「共に汗をかく」ことです。その前提条件は資源と情報の共有であることは言うまでもありません。

くらしの森は市民の「村」となり、共に心と体をつくろう

2004年中越地震の被災された岩塚小学校の校歌の２番は「青田をうるおす川瀬の水も 時にはあふれて里人たちの たわまぬ力を鍛えてくれる われらも進んで仕事にあたる 心とからだを作ろう共に」とあり、災害が心とからだを鍛えてくれる（技術にも自治がある／大熊　孝)。この校歌のように村は地域コミュニティーと文化を育んできました。この川は渋海川といい、子どもたちの育つ環境を整える視点のなかった経済成長時の河川改修が行われ、子どもたちから遊び場を奪ったそうです。今も、自然の中で遊び、生き物に出会う「距離」は意識しない限りますます遠くなり、日常生活の中でも乖離がすすんでおります。

段々畑　美濃石の石垣

さて、往年の耕作地の跡、面影をあちこちに残したままではあるが、中道沿いには美濃石の石垣でできた段々畑と炭焼き広場もできました。
パンパスグラスのある上池（仮）から湧き水70リットル／分が供給されて水路に流れ込んでおります。水路は下池（仮）まで続き、年度末には中道の中間に三枚の水田（300平方ﾒｰﾄﾙ）ができます。この水路の水は水田・湿地を潤しつつスモモ池と下池（仮）の双子池に流れ込みます。大きな課題であった水環境の整備がされたことになります。

ここは多くの人を里山の自然へ誘うことができます。まさに、生物多様性の体験の場となります。大人も子供も体験を積み重ね、共感し合い、共に心と体を鍛える名古屋市約210万人の「村」となりそうです。

中道の水路

満水に近い下池(仮称)

活 動 報 告　2009年 7月 ～ 12月

定 例 会

□7月5日（日） 9:00～12:00 天候：曇

場　所:藤巻町地内名古屋高速道トンネル上

参加者:会員 38名（内子ども6名）

✳子ども森づくり隊隊員は活動3回参加ごとに表彰されます。
今回M･S君の2名が表彰されました。

内　容:最近、定例会活動日への子どもさんの参加が定着しつつあり、今回、3回参加の2名が表彰され、うれしい現象です。毎年7～9月は夏時間で活動は9時集合で午前中に終了となっています。
朝から曇天で蒸し暑く、何度も水分補給をしながらの作業でしたが、参加者の精力的な働きで植樹エリアの除草刈り、民有地から侵入の竹の除伐がはかどり広々と整備されました。生き物ではカナヘビ、ヤマトシジミ、ベニシジミなどが観察されました。

子ども森づくり隊隊員の表彰

□8月2日（日） 9:00～10:30 天候：雨

場　所:ハンノキ湿地西側周辺

参加者:会員20名（内子ども3名）

内　容:朝方から雨が降り続ける中、やや遅れた参加者もいましたが20名が集まりました。しかし、雨脚が強まるばかりで、10時半、作業を打ち切りました。
少人数の参加でしたがササ刈り、木伐採など
少人数でしたが効率よく作業は終わりました。

雨の中での作業

□9月6日（日） 9:00～12:00 天候：晴

場　所:苗場奥の森

参加者:会員38名（内子ども1名）一般4名（内学生1名）
企業 FX 社:12名（内子ども2名） 合計54名

内　容: 名市大学生、一般、企業と多くの参加者がありました。今回は作業前に木の伐り方、安全の確認及び伐採後の木の処置について説明を受け、木の間伐をしました。若い人の力が大いに発揮されました。
森の中でも気温が高くスタッフから何度も水分補給の呼びかけを行い全員無事に作業は終わりました。

□１０月４日（日）　10:00～15:00　天候：晴

場　所: 東邦学園南西部 斜面下

参加者: 会員34名（内子ども4名）学生2名　合計36名

内　容: まだ、日差しは強いが日蔭は心地よい初秋の風が吹き、絶好の活動日でした。活動場所は１年半振りで、その状態に復帰するには2回の作業が必要と説明がありましたが、みんなの力で作業は順調に進み開けた広場になりました。
フユイチゴの実りが期待できそう！！

日当りの良い広場ができました

□１１月１日(日)　10:00～14:00　天候 ： 晴後雨

場　所: 東山公園南部・一粒荘跡地周辺

参加者: 会員38名(内子ども3名)　一般2名(内学生1名)
会員企業 TG 社19名(内子ども6名)
千の種あかし隊7名(内学生1名)　　合計66名

✳ 森づくり活動に参加3回の子ども3 名が表彰されました。

内　容: 学生さん、一般、企業と多くの参加者があり、はじめに、ここの整備はきれいに咲いているサザンカを守るためでもあるとの説明がありました。作業は竹の除伐でしたが、「千の種あかし隊」が計画している秘密基地づくりに必要な竹150本(3m)の伐り出しも行いました。一粒荘跡が林の中からでも見えるようになりました。

一粒荘跡地

□１２月６日（日）　10:00～15:00　天候：晴

場　所: 東邦学園南西部斜面下

参加者: 会員41名(内子ども3名)
企業 FX 社11名(内子ども3名)　合計52名

内　容: 作業は「竹藪から竹林へ」を合言葉に急斜面をベテラン会員、平地を会員企業とに分かれて進め、急斜面部は竹林らしく、平地部は前回を含め、約600㎡の広場になりました。前回整備した広場にはフユイチゴが実り、到着早々「美味しい! 美味しい!」と言いながら何人かの人達が食していました。

竹林らしく！

企業の森づくり活動

最近、企業からの活動参加の申し込みが多くあり、森づくり活動の大きな力になっています。

会員 FC 社9名/1回　会員 HK 協会9名/6回　会員RD社47名/1回　会員 TG 社19名/1回
FX 社23名/2回　PS社3名/1回　RC 社89名/2回　合計　199名

運営委員会

開催日: 毎月　第3木曜日　18:30～20:55　　場所：千種スポーツセンター第一会議室

議　題: 森づくり定例会、班活動、主催事業などの企画と結果報告、各種協賛事業、受託事業の実施計画と結果報告。各種団体の視察などの受入れ検討。協働の関係にある名古屋市の

関係部署、(財) 名古屋市みどりの協会と里山の管理運営に係わる事案の協議、意見交換など。 ⇒運営委員会は、会員の皆さんの自由な発言の場所です。森づくりへの思いを伝える場としてご参加ください。
その他事案発生ごとに臨時運営委員会を招集し対応を協議。今年度は「協働の在り方」について数回開催しています。

班活動

☆平和公園里山班

開　催: 毎月第2、第4日曜日
活動エリア: くらしの森　(平和公園南部)
内　容: 菜の花、ヒマワリ畑の草取り・肥料散布などの手入れ、ドングリ畑の下草刈り、奥の林の間伐・下草刈り、苗木を植えて4年目の栗の木の下草刈り、初めて栗の実が付きました。そして堆肥づくりをしています。

堆肥づくり

☆東山南部里山班

開　催: 毎月第4土曜日
活動エリア: いのちの森・うるおいの森　(東山公園南部)
内　容: 名古屋高速東山トンネル上部の更地に植樹した、アベマキやコナラの苗木の生育を助けるための除草、苗場奥の林内の間伐及び散策路沿いを含めた倒木の整理をしています。森の中が明るくなっています。

☆ハンノキくらぶ

開　催: 毎月第3木曜日
活動エリア: くらしの森(平和公園南部)
内　容: 中道に繁茂したトウチクの竹やぶ整備、第2木道のスズコナリヒラ竹林などの間伐に続いて、現在はハンノキ湿地入口のハチクの竹藪整備をしています。竹林復活に頑張っています。

☆子ども東山の森づくり隊

＝なごや環境大学「共育講座」として実施＝

◘ 8月1日 (土)　18:00～20:00　　天候：晴

場　所: くらしの森　「ナイトハイキング」
参加者: 隊員21名　保護者等同伴者22名　スタッフ24名　合計67名
内　容: 雨が激しく降る中5班に分かれ徐々に暗くなっていく森を歩きました。カナヘビ、ヒキガエル、カブトムシ、コクワガタなどを捕獲、セミが殻から出始める羽化を観察、夜に咲くカラスウリの花を見つけたりと、多くの動植物と出会えて子ども達は大満足、同伴者の人達も夢中になった夏の一夜でした。

カラスウリの花

セミの羽化を観察

◘ 11月14日 1 (土) 10:00～11:45　天候：曇後晴

場　所: 里山の家前
参加者: 隊員10名　幼児2名　保護者等同伴者4名　スタッフ18名　　合計34名
内　容: 朝7時の段階で雷注意報が出ていたため、竹伐り作業は取りやめ、参加者は事前に伐り出していた竹を適当な長さに切って、やすり・紙やすりで削ってコップ、花入れなどを子どもと保護者が協力して楽しく作っていました。

カナヘビとあそぶ

途中、炒ったスダジイやマテバシイを
「あったかい！」「おいしい！」と
言いながら試食しました。

姉妹でコップづくり

☆広報班

開　催:毎月第2水曜日　18:30〜　場所：里山の家

内　容:森づくりの会の活動意義･内容を多くの市民に知っていただくため、定例活動報告書の作成、「森だより」の発行、ホームページの運営などの活動をしています。

その他の活動

☆里山ツアーズ

主　催:千種生涯学習センター　　定員30名

6〜7月　6回シリーズ（座学1日含む）

へいわの森、くらしの森、ふれあいの森、いのちの森、うるおいの森５エリアに分けて散策しました。

☆名古屋の棲息生物調査２００９（灯火採集）

主　催:名古屋の棲息生物調査実行委員会

なごや環境大学共育講座　6回シリーズ

7月18日(土)、25日(土)、26日(日)、8月22日(土)、23日(日)の5回にわたって平和公園、新池、東山公園南部にて灯火採集を行いました。

この結果は2月の報告会で発表されます。

☆トライアルサタデー

主　催:千種生涯学習センター　定員親子30組

10〜12月　5回シリーズ(動物園ツアー1日含む)

東山一万歩コースを昼・夜の2回とくらしの森を散策し、最後に竹で器などをつくり、それを使って昼食を頂きました。

竹の鍋で卵焼き

☆東山の森ガイドブックの作成

発　行:なごや東山の森づくりの会、(財)東山公園協会との共同発行

5月より編集作業を開始し、来年3月までには発行する予定です。

A5版　40ページ前後

また、11月23日(月・祝)公募者62名がガイドブック作成記念行事として「東山の森散策会」を実施しました。

イベント参画

☆環境デーなごや2009

主　催:環境デーなごや実行委員会

パネル展示で当会の活動を紹介した。また、木の実・枝など森の恵みでクラフトづくりをしました。

クラフトづくり

☆千種区民まつり

主　催:千種区民まつり実行委員会

パネル展示のほかクラフトづくり、きこり体験、竹馬乗りをしました。

森の表情

季節の気配　　　　水谷泰通

秋も深まる11月初旬、久しぶりで東山南部、ふれあいの森、うるおいの森を歩きました。夏、この森のガイドブックを作るお手伝いをすることになり、まずはよく観察してと思い、何度か歩きまわって以来でした。木々の葉はまだ意外なほど緑をたたえ、一見森にあまり変化がないように見えるのですが、それでもソヨゴ、サカキなどの合間に、赤く、黄色く色づいたウルシやタカノツメが、たよりなく宙に漂うように存在を主張しているのが秋を感じさせてくれます。私たちは目からのみ季節の移ろいを感じるのでしょうか？試しにそっと目を閉じて耳をそばだてると、やはり夏とは違う、確かな秋の気配を感ずることができます。

見えない気配の正体とは？　夏の、あの汗を誘うようなせみ時雨に変わって、今聞こえてくるのは間歇的に聞こえてくる野鳥の囀り、鋭く、長く、くぐもり、あるいは清み渡る声。また、か細く控え目な虫の音も夏にはなかった音です。聞き耳を立てていると時折「パサッ」「ポトッ」ドングリの落ちる音もします。そして何よりも木の葉が風にそよぐ音が夏とは違って聞こえるのです。夏には風に木々がそよぐとき、サワサワと聞こえたのに今はカサカサと聞こえます。なぜかな？勝手な理屈を考えました。すなわち、春、夏には葉は瑞々しく柔らかで、触れ合う音もソフト、これに対し秋になると、特に落葉樹の葉は水分が少なくなり表面が固くなってやがて枯葉となって落ちてゆく、その硬い葉が触れ合うとカサカサ…では？秋だな～“勝手な想像をめぐらせながらの森歩き、次は冬の気配が楽しみです”。

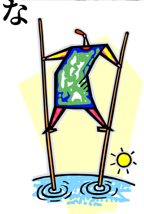
今後の活動予定

☆**定例会**：毎月第1日曜日

1月3日　うるおいの森	2月7日　くらしの森	3月7日　うるおいの森
4月4日　くらしの森	5月2日　うるおいの森	6月6日　くらしの森

＊集合場所、時間など詳細につきましては、その都度事前にメールなどで連絡致します。下記ホームページでも案内しており、みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

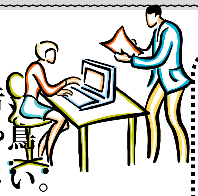
☆子ども東山の森づくり隊



2月13日（土）10:00～15:00　「雑木林できこり体験」　くらしの森
5月　8日（土）10:00～14:30　「冒険ハイキング」　うるおいの森

☆ホームページを見てください！！

⇒ 当会の活動を紹介するホームページです。



定例活動の様子、子ども森づくり隊の案内、結果の報告、班活動や各種イベントの紹介、森の中で観察された花や鳥の紹介などなど内容豊富です。　ぜひ検索してみて下さい。

なごや東山の森づくりの会　［検索］

自然を豊かにし、人生を豊かにする森づくり活動に参加しよう！

《 会員数：　12月10日現在139名　個人133名　企業6社 》

《会員募集》
人と自然の　いのち輝く森
「東山の森づくり」に参加しませんか！！
年会費：2,000円　(企業：10,000円/1口以上)
入会申込・問合せ：〔連絡幹事〕鬼　頭　保
Tel／Fax：052－751－9510
e－mail：kito022445@mediacat.ne.jp

編集後記　「森だより」第12号から編集担当が変わりました。はじめての編集に四苦八苦しながらも発刊することができ安堵しています。これからも多くの人の協力をお願いします。
投稿歓迎⇒ 坂野静雄　Tel/Fax：052-783-0984
e－mail：s1851656@yahoo.co.jp

写真提供：友野、浜口、鬼頭、中西、水谷、坂野